

## 平成28年度 宜野湾市「みんなで考えよう！誰もが輝く社会って？」

**市**では平成29年3月9日に「男女共同参画フォーラム」を開催し、100名以上が参加しました。

基調講演講師レイチェル・デイビットソンさん(ヒルトン沖縄北谷リゾート総支配人)は、日本国内の高齢化による労働力不足の現況に対し「働き方の多様性と女性の社会進出の必要性」を語りました。「自分の望む、働く環境を備えた企業を選択してきた」「男性にもフレックスタイム制が必要であり、女性もアグレッシブ(積極的)に！」と力強く話され、また「母の諦めない気持ちを持つという言葉が心の支えとなり、キャリアアップすることができた」と語りました。

パネルディスカッションでは、市内企業(株)ステーション・ピーの金城さんと伊波さんが、コミュニティルームの設置や育休復帰後の対応など、働きやすい職場環境作りのための企業の取組みを報告。大山自治会長の又吉さんの「家事は自分の仕事です」の言葉に会場がわきあがり「誰もが輝く社会について」考える機会となりました。



▲基調講演



▼パネルディスカッション

與儀さん 金城さん 伊波さん 又吉さん  
(コーディネーター)

### ～アンケートから～

- ・人材をどう活用するのか。性別の違いだけではなく、性格の違いなどでも、多様性を考えながら会社組織を考えないといけない。など色々考えさせられました。又吉さんの家事は自分がするもの。という考え方には、家事は女性がすべき、男性は「手伝う」という日本人の固定概念的考え方を根本から変えている点でいいと思います。これからも強く発信してください。(30代)
- ・自分自身が変わらないと、次の若い世代が夢をえがけないと感じました。「どうせ出来ない」という考えをまず、変えないといけない。(50代)

問合せ：市民協働推進課 平和・男女共同係 ☎893-4411 内線421 「お互いに 未来を掴もう 共同参画」



学び、ふれあい、感じる実践の場

## めぶき★ぶくぶく情報

### ★第3回ぶくぶく講座

沖縄県の認知症高齢者は現在約3万9千人となっており、今後も増加していくことが見込まれています。認知症を他人事にせず、認知症の人や家族が安心して暮らせるよう何ができるか考え、サポートできるように学びませんか。

### テーマ..認知症サポーター養成講座 「みんなで支えよう！いつか訪れるその時にできること」

講師	山内洋勝さん(認知症キャラバンメイト) ※沖縄県認知症サポーター・キャラバン事務局より派遣
日時	6月21日(水)午後7時～午後9時
場所	男女共同参画支援センターぶくぶく(講堂)
対象	関心のある方

受講料 無料

☆受講ご希望の方は事前にお申込みください。  
(一時保育の申込み締切は6/12です。)

**認知症サポーターとは…**認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者であり、自分のできる範囲で活動していくつもりです。(認知症の人の介護などに従事していただくなわけではありません。)

### ★活動の例★

友人や家族にも、認知症の知識を伝える。  
近所の人や役所、商店、交通機関など認知症の人と接する職場で働く人が、まちで認知症の人に対する適切な対応をする等。

申し込み問い合わせ先(平日9時～17時)  
男女共同参画支援センターぶくぶく

宜野湾市志真志1丁目15番22号

電話 896-1616



皆さんのご参加をお待ちしています。